

事前評価個表

整理番号	11
------	----

地域（地区）名	ひだか 日高地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	北海道	対象市町村	平取町ほか6町
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	道、町、森林組合等

事業の概要・目的	<p>日高森林計画区は、北海道の中央南西部に位置し、北海道の背骨と言われる南北に連なる急峻な日高山脈とほぼそれに並行して走る海岸線に挟まれている。</p> <p>本計画区の総面積は481,196haのうち、森林面積は402,206ha（森林率84%）で、道内で最も森林の割合が高い地域である。</p> <p>民有林は170,543ha、そのうち天然林が125,357ha（天然林率74%）と天然林資源が豊富な地域である。人工林はトドマツ、カラマツを主体として41,833ha（人工林率25%）となっている。また、計画区内の林道延長は512km、公道等を含む林内道路密度は9.1m/haとなっており、このほかに林道の支線として作業道が整備されている。</p> <p>計画区内の民有林人工林の約7割をトドマツ、カラマツが占めるが、カラマツ14,109haのうち 齢級以上が10,242haと約7割を占め、主伐期を迎えつつあることから計画的な更新や長伐期施業への推進を図る必要がある。一方、トドマツは17,947haのうち 齢級以下が10,383haと約6割を占めており、適正な保育・間伐を必要とする林齢にあるが、近年の木材価格の低迷などにより、森林所有者の森林整備に対する意欲が減退し、手入れ不足の森林が見られる状況にある。</p> <p>このため、日高地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づく森林整備及び路網整備を推進する必要がある。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：22,615 ha 人工造林、樹下植栽等、下刈り、枝打ち、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費：5,366,505千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 6.51 (総便益(B) = 59,204,234千円、総費用(C) = 9,093,929千円)</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の賦存状況、森林整備の緊急性等から見て、必要性が高い。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：健全な森林づくり等によって水源かん養、国土保全等の機能の確保に加え、将来の優良材の安定的な生産の上で有効である。</p> <p>本計画では、森林の多面的機能を発揮するために必要な森林整備と路網整備が適切に計画されている。</p> <p>また、効率性、有効性も十分に認められることから、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

便 益 集 計 表

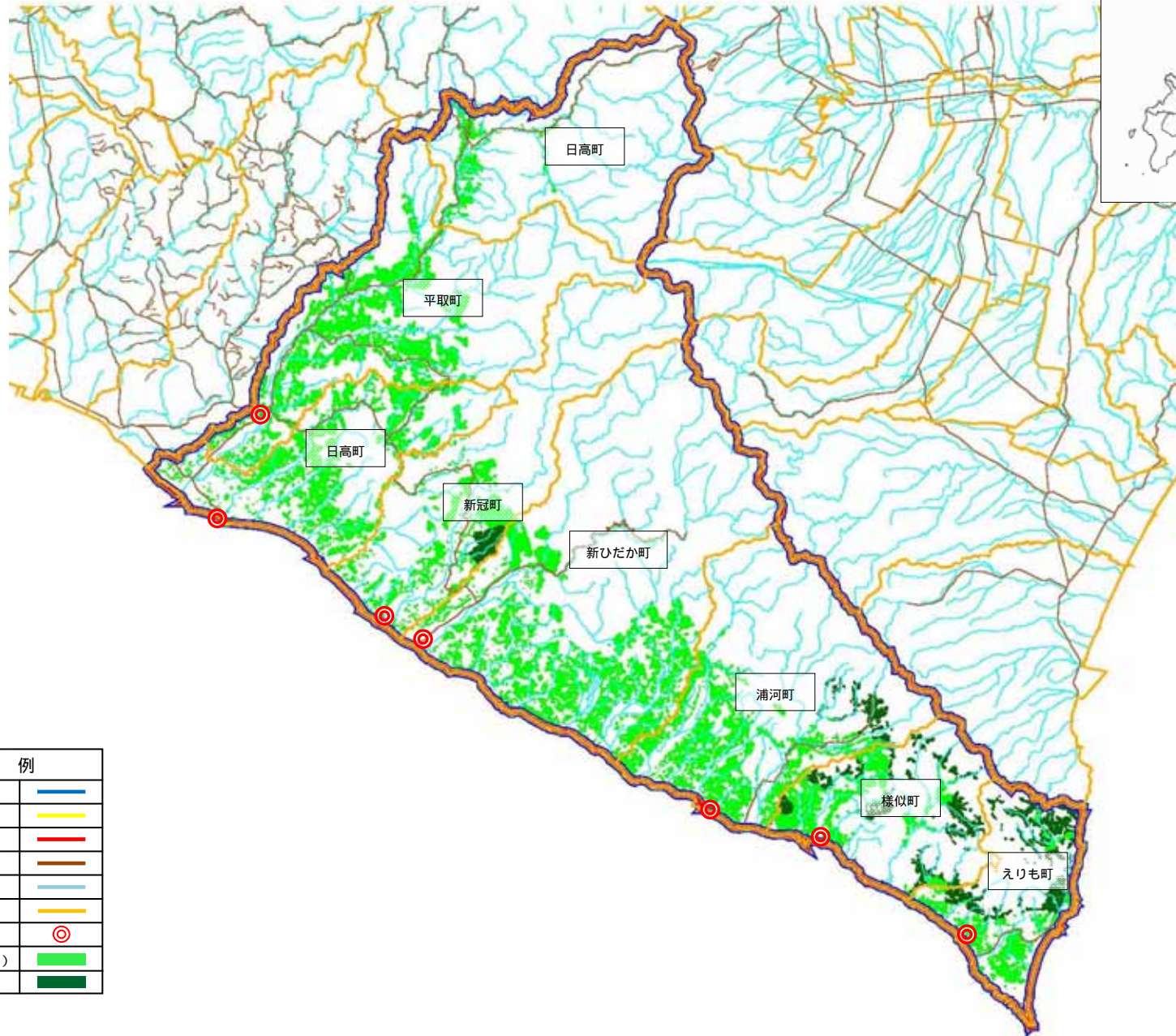
(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
 地域名: 日高

北海道
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	12,018,076	
	流域貯水便益	6,503,223	
	水質浄化便益	11,102,274	
山地保全便益	土砂流出防止便益	25,304,918	
環境保全便益	炭素固定便益	2,753,897	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	1,521,846	
総 便 益 (B)		59,204,234	
総 費 用 (C)		9,093,929	
費用便益比	$B \div C = \frac{59,204,234}{9,093,929} = 6.51$		

森林環境保全整備事業 日高地域（北海道）概要図



凡 例	
計画区界	
事業区域	
森林整備	
国道・主要道	
河川	
市町村界	
市町村役場所在地	
一般民有林（人工林）	
道有林（人工林）	